

# 北杜市地域再生計画について(北の杜フードバレープロジェクト)



北杜市は、農業や観光を基幹産業としているが、高齢化率が平成28年において35.7%となっており、今後、少子・高齢化を起因とする農業分野での担い手不足が懸念され、耕作放棄地の増大防止など地域農業の活性化策や、地域の新たな担い手として「農」や「食」を通じて市の魅力を発信し、都市部からの子育て世代の移住・定住推進が喫緊の課題である。

市としては、地域活性化のため新規就農者の支援、営農組織の法人化、企業型農業法人の参入誘致など積極的に取り組んできており、一定の成果は出ていると考えているが、なお一層の地域農業の活性化を促進するため、合併10周年時に「安全・安心 日本の台所 北杜市」宣言を行い、日本のフードバレーとなるため、「地産地消」はもとより、全国や海外までも視野に入れた「地産全消」を目指すこととした。

平成28年には、「日本の台所宣言」の基となったフードバレー構想構築のため、地方創生加速化交付金の事業採択を受け、農業分野での多彩なプレイヤーを有機的に繋げる「北の杜フードバレー構築プロジェクト事業」を実施することとし、北杜市フードバレー協議会による活性化事業の実施も可能な状態となった。

このため、「地方創生応援税制」を活用し、北杜市フードバレー協議会の運営経費を確保するため、「北杜市地域再生計画(北の杜フードバレープロジェクト)」を策定し、平成29年11月7日に認定された。

## 「安全・安心 日本の台所 北杜市」

長い日照時間、清らかな水、澄んだ空気、肥沃な大地、これらの豊かな自然と首都圏からの利便性に恵まれた北杜市は、先人が育み営々と受け継いできたお米をはじめ、標高差を生かした安全・安心なおいしい農畜産物を生み出し、近年は新規就農者や農業法人の進出も多く、日本のフードバレーとして全国から注目されています。

毎日の食を安心して口に入れることができる北杜市では、元気な子供や高齢者が健やかに暮らしており、このことは現代社会において最も求められています。

北杜市の恵まれた環境のもと生み出された「食」を一人でも多くの人に送り届けることを誓い、豊饒の地「ほくと」から「安全・安心 日本の台所 北杜市」を宣言します。

平成26年11月1日